

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-504753(P2005-504753A)

【公表日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-007

【出願番号】特願2003-516541(P2003-516541)

【国際特許分類】

A 6 1 K 36/18 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

A 6 1 K 31/155 (2006.01)

A 6 1 K 31/352 (2006.01)

A 6 1 K 31/426 (2006.01)

A 6 1 K 31/64 (2006.01)

A 6 1 K 31/7048 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 39/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/78 C

A 2 3 L 1/30 B

A 6 1 K 31/155

A 6 1 K 31/352

A 6 1 K 31/426

A 6 1 K 31/64

A 6 1 K 31/7048

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 39/06

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月28日(2005.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

抽出物がバウヒニア属の各種から得られることを特徴とする、低血糖活性を有する植物抽出物。

【請求項2】

N 0 - S T Zラットモデルによる経口グルコース耐性テストにおける「血漿中グルコース濃度対時間」曲線の下部面積が著しく減少することを特徴とする、請求項1記載の抽出物。

【請求項3】

血漿中グルコース濃度対時間の曲線の下部面積が、コントロールに対して10%以上減少することを特徴とする、請求項2記載の抽出物。

【請求項4】

血漿中グルコース濃度対時間の曲線の下部面積が、コントロールに対して15%以上減少することを特徴とする、請求項3記載の抽出物。

【請求項 5】

血漿中グルコース濃度対時間の曲線の下部面積が、コントロールに対して20%以上減少することを特徴とする、請求項 4 記載の抽出物。

【請求項 6】

血漿中グルコース濃度対時間の曲線の下部面積が、コントロールに対して35%以上減少することを特徴とする、請求項 5 記載の抽出物。

【請求項 7】

抽出物を N O - S T Z ラットモデルにしたがうラットに使用したとき、当初の基礎血糖に対する絶食時血漿中グルコース濃度が著しく減少することを特徴とする、請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の抽出物。

【請求項 8】

バウヒニア属の各種が、バウヒニア・カンディカン、バウヒニア・チャンピオニイ、バウヒニア・フォルティフィカタ(バウヒニア・フォルフィカタ)、バウヒニア・マンカ、バウヒニア・パーブレア、バウヒニア・ラセモサ、バウヒニア・レチクラタ、バウヒニア・トメントーサ、バウヒニア・バリエガタ、バウヒニア・チエランタ、バウヒニア・グアネンシス、バウヒニア・レフューサ、バウヒニア・グラウカ、バウヒニア・パウレチア、バウヒニア・ウングラトー、バウヒニア・マクロスタチア及びバウヒニア・スプレnden から選ばれる、請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の抽出物。

【請求項 9】

前記バウヒニア属の種がバウヒニア・フォルティフィカタ(バウヒニア・フォルフィカタ)である、請求項 8 に記載の抽出物。

【請求項 10】

抽出に使用される部分が葉である、請求項 8 または 9 に記載の抽出物。

【請求項 11】

前記葉が若い葉である、請求項 10 に記載の抽出物。

【請求項 12】

1 つ以上の活性物が、アピゲニン、アピゲニン-7-O-グルコシド、イソケルセチン(イソケルシトリン)、ケンプフェロール-3-ルチノシド、ケンプフェロール-3-ガラクトシド、ケンプフェロール-3-ラムノグリコシド、ケンプフェロール-3-グルコシド(アストラガリン)、ナリンゲニン-4'-ラムノグルコシド、ナリンギン、ケルセチン、ケルセチン-3,7-O--ジラムノシド、ケルシトリン、5,7-ジメチル-エーテル-4'-ラムノグリコシド、ルチン、5,7-ジヒドロキシフラバノン-4'-O-L-ラムノピラノシル--D-グルコピラノシド(ナリンゲニンアグリコン)などのフラボン又はフラボノイドであると考えられる、2 つ以上の活性物を含む低血糖活性を有する、請求項 1 ないし 11 のいずれか 1 項に記載の抽出物。

【請求項 13】

少なくとも 1 つの活性物がケルセチン、イソケルセチン又はルチンから選ばれる、請求項 12 に記載の抽出物。

【請求項 14】

a)バウヒニア属の各種の一定部分を極性溶媒の混合物で抽出し、b)該溶媒を分離することによって得ることができる、請求項 1 ないし 13 のいずれか 1 項に記載の抽出物。

【請求項 15】

極性溶媒の混合物が一方の溶媒として水を含み、かつ、メタノール、エタノール、1-プロパノール、2-プロパノール、アセトニトリル、アセトン及び酢酸エチルから選ばれる 1 つ以上の他の溶媒を含む、請求項 14 に記載の抽出物。

【請求項 16】

前記溶媒混合物が 10～90 容積 % の水を含む、請求項 15 に記載の抽出物。

【請求項 17】

前記溶媒混合物が 30～70 容積 % の水を含む、請求項 16 に記載の抽出物。

【請求項 18】

a) バウヒニア属の各種の一定部分を極性溶媒混合物で抽出し、b) 該溶媒を分離することによってバウヒニア抽出物を製造する方法。

【請求項 19】

請求項 1 ないし 17 のいずれか 1 項に記載のバウヒニア抽出物の薬剤としての使用。

【請求項 20】

請求項 1 ないし 17 のいずれか 1 項に記載のバウヒニア抽出物の抗酸化剤としての使用。

【請求項 21】

請求項 1 ないし 17 のいずれか 1 項に記載のバウヒニア抽出物を使用する、低血糖活性を有する薬剤の製造方法。

【請求項 22】

請求項 1 ないし 17 のいずれか 1 項に記載のバウヒニア抽出物を使用する、血漿中グルコースクリアランスに影響を及ぼすのに適する薬剤の製造方法。

【請求項 23】

低血糖活性を有する薬剤の製造でのイソケルセチンの使用。

【請求項 24】

請求項 1 ないし 17 のいずれか 1 項に記載のバウヒニア抽出物を含む、薬剤としての組成物。

【請求項 25】

請求項 1 ないし 17 のいずれか 1 項に記載のバウヒニア抽出物を含む、抗酸化剤としての組成物。

【請求項 26】

請求項 1 ないし 17 のいずれか 1 項に記載のバウヒニア抽出物を含む、低血糖活性を有する薬剤組成物。

【請求項 27】

請求項 1 ないし 17 のいずれか 1 項に記載のバウヒニア抽出物を含む、血漿中グルコースクリアランスに影響を及ぼすのに適する薬剤組成物。

【請求項 28】

イソケルセチンを含む、低血糖活性を有する薬剤組成物。

【請求項 29】

請求項 1 ないし 17 のいずれか 1 項に記載のバウヒニア抽出物又は請求項 18 に記載の方法で製造された抽出物を 1 ~ 99 重量 % 含む組成物。

【請求項 30】

追加補充物を 0.01 ~ 99 重量 % 含む、請求項 29 に記載の食物補充剤。

【請求項 31】

前記追加補充物がビタミン、ミネラル、オリゴ成分、プロバイオチックス (probiotics)、プレバイオチックス (prebiotics)、フラボノイド、脂肪酸、ポリサッカライド、リポ酸又は植物抽出物であることを特徴とする請求項 30 に記載の食物補充剤。

【請求項 32】

追加の抗酸化剤を 0.01 ~ 99 重量 % 含む、請求項 29 に記載の薬剤組成物。

【請求項 33】

前記追加の抗酸化剤がビタミン C 及び E、 α -リポ酸、フラボノイド、グルタチオン、カロテノイド、コエンザイム Q10、蛋白結合亜鉛又はセレンウムを含む群から選ばれることを特徴とする請求項 32 に記載の薬剤組成物。

【請求項 34】

経口低血糖剤 (OHAs) をさらに含むことを特徴とする、請求項 29、32 および 33 のいずれか 1 項に記載の薬剤組成物。

【請求項 35】

前記経口低血糖剤 (OHAs) がスルホニル尿素、メトフォルミン及び/又はチアゾリジンジオンであることを特徴とする、請求項 34 に記載の薬剤組成物。